

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3037号 2024年3月5日(曇り後雨) 第33回例会 会員数103名

ハイブリッド例会

点 鐘 石川(元) 会長
司 会 副SAA 駒場会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

◇本日のランチ 小付 煮物 汁 ご飯 香の物
豚ロースカツピザオール風 デザート

ビジター紹介 小林(正) 副会長

◇宇都宮東警察署

署長・栃木県警視 篠原 勝弘 様(卓話講師)
随員 小林 拓馬 様

◇米山記念奨学生

ラグワスレン, アマルサナー君

◇2011-12米山奨学生 グェン スァン チェン君



会長挨拶 石川(元) 会長

皆様、こんにちは。今月のロータリー月間は「水と衛生」です。ロータリーの友(3月号7頁)に黄金色の写真が載ってまして、トイレのことが書いてありました。衛生は非常に大事なことで、水は生きるために大変大事なもので、それをいかに世界中に安全に届けるか、そのためにいろいろな活動をしている、ロータリーがそれをやらねばならない、ということです。日本というのは水が当たり前のように豊富に存在するので、あまり水に関しては考えてこなかったかな、と思っています。それでも先人たちは、水をいかに届けるか、非常に知恵を働かせました。江戸の町、よく長屋に井戸のようなものが出てきますが、あれは上水なんですね。よく言う水道橋、神田上水の水を引いてきて、江戸中に水道網を広げて町々に水道を作ったという、非常に苦勞してきた先人の知恵があります。日本は水に対して、誇るべきいろいろ

な知恵を持っていた、ということでもあります。今、「日本はトイレが素晴らしい」と世界中で称賛され、世界中に広げているということでもあります。水に関してもいろいろな政府の機関が、あらゆるところで、水道、水道ポンプ等、水の供給のために進めています。ロータリーとして、我々もそれをしていけばいいかな、と思っております。

◇奨学金の授与

米山記念奨学生

ラグワスレン, アマルサナー君

※今回で最後のためご挨拶がありました。



幹事報告

谷田部(修) 幹事

◇ロータリーレート 3月は1ドル151円。

◇本日18時30分~ ホテルニューイタヤにて
石川年度第9回定例理事会開催。

◇3月12日は移動例会。宇都宮美術館へ訪問。



委員会報告

◇出席委員会

黒澤委員長

<皆出席表彰・2月分>

通算35年 宮下 浩会員

通算26年 細谷 俊夫会員

通算22年 若井 勲会員

通算18年 渡邊 有規会員

連続5年 野添 将嗣会員

通算4年 石田 裕之会員

連続2年 谷田部勝寛会員

◇親睦委員会

黒澤副委員長

<誕生祝い・3月>

会員誕生

福田 治雄、郡司 公生、菊池 信寿、
黒澤 佳樹、五月女大介、佐々木貞雄、
田原 聖、高野 藤房、山下 大介、
吉田 努、原 賢一郎

各会員

夫人誕生

福田 治雄、原 賢一、入江 武、
木平 健、荻原 耕三、相馬 克美
各会員の奥様



卓 話

「警察における人材育成について」



宇都宮東警察署長・栃木県警視 篠原勝弘 様
今日は、若手警察官の人材育成についてお話を
させていただきます。

－ パワーポイントにて説明 －

はじめに、栃木県警察の組織ですが、警務部、
生活安全部、地域部、刑事部、交通部、警備部の
6部と警察学校、その他に県内で19の警察署が
あります。警察官の定員数は条例で決まってい
て、栃木県は警察官が3,429名、事務の方が464
名、合計3,893名の定数になっています。現在、
東警察署の署員は約250名で、年齢構成は、若手
(18歳以上30歳未満)が3割、45歳位までが4割、
その上が3割です。

警察官の仕事は多種多様で、法律も年々変わ
ります。現場対応でもその相手によって対応の仕
方が変わります。法律の知識の他にも経験が必要
となります。机上で知識は得られても経験を得る
には数年かかります。

警察の教育機関ですが、警察大学校、関東管区
警察学校、栃木県の警察学校とあります。警察大
学校は、警部に昇任したものが全国から集まり、
そこで勉強します。関東管区警察学校は、警部補
迄の昇任者が勉強します。栃木県の警察学校は宇
都宮の若草にあり、警察官に採用されると入校し
ます。警察官の募集は年2回あり、約100名を採

用したいと計画していますが、なかなか人材がそ
ろわないというのが現状です。警察学校では、い
ろいろな教養がありまして、立てこもり事件やス
トーカーなど、特殊な勉強を集中してやる課程も
ございます。

警察官は警察官職務執行法で、何らかの犯罪を
犯し、また犯すおそれがある人に対して職務質問
ができます。ちょっとした不審点を見つけて声を
かけます。また、一般の方に対しても、交番に來
たおばあちゃんがよろけた時など「大丈夫です
か？」と声をかけることがあります。今の若い
人は、なかなか声を掛けづらい、ということがあ
るようです。アクションプログラムという、若手
警察官の育成を数年前からはじめております。学
校を卒業してからは、交番では巡査部長が、教養
内容、交番基本事項、初動警察活動、職務質問、
捜査資料作成等、一人前に育てるための指導をし
ます。こちらのようシートを使ってチェックを
し、全部チェックが終われば、概ね一通り経験が
できた、ということになります。また、専務指導
というのがあり、現場と一緒に体験して経験させ
る、ということをしています。専務員と一緒にや
るとするのは、若い警察官にとってはそう経験で
きるものではありません。今の若い人は対人スキ
ル等、まだまだ未熟なところはありますが、学ぶ
意欲が非常にあり優秀です。そこに、経験を積ま
せることができれば、より早く一人前の警察官に
なることができるのではないかと思います。警察官
は、事故や事件の対応の他にも、人材育成
にも力を入れております。今日は、事故や事件以
外の視点を変えたお話をさせていただきました。

ご挨拶



2011-12米山奨学生 グェン スァン チェン君

※当時カウンセラーの辻裕司会員より紹介があ
り、現在、ダナン工科大学副学部長で、宇大
工学部と交流があり、L R Tの研究で来日し
たとのことでした。